



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

主 題 (2010~2011)

- ・ **国際協会会長** 『Once More We Stand.「心新に立ち上がろう」』
藤井 寛敏 (東日本区 東京江東クラブ)
スローガン 『Build a Bridge to the Future』
「明日《あす》への橋を架けよう」
- ・ **アジア地域会長** 『Once More We Stand.「心新に立ち上がろう」』
高田 一彦 (東日本区 横浜クラブ)
- ・ **西日本区理事** 『飛翔たとう ワイズスピリットを胸に』
「Forward with Y's men's spirit in our hearts」
仁科 保雄 (京都キャピタル)
副 題 『Let's meet challenge with calmness』 「泰然自若の精神で」
- ・ **六甲部 部長** 『Show Y's care, Sow the seed of Y's』
安行 英文 (さんだクラブ) 「ワイズの心を、ワイズの種をまこう」
- ・ **西宮クラブ 会長 馬場 一郎** 『交わりを大切に、クラブライフをエンジョイしよう』
「Let's enjoy our club life through friendship!」

2011年2月

753号

64期8号

since 1948.5.17

スポンサークラブ
大阪クラブ
DBC 締結
近江八幡クラブ
広島クラブ

クラブ主役員

- 会 長 馬場 一郎
- 直前会長 浅野 純一
- 副 会 長 瀧崎 進一
- 副 会 長 清水 彬久
- 書 記 廣瀬 一雄
- 書 記 阪根 新
- 会 計 岩田 健司
- 会 計 足立 康幸
- 監 事 藤原 百合子
- 担当主事 三島 浩司
- 六甲部監事 山口 政紀
- 部広報主査 浅野 純一
- 区次期交流 廣瀬 一雄

2011年2月 西日本区強調ポイント "TOF・CS・FF" ワイズの大切な活動資金です、各クラブでしっかりアピールし、しっかり集めて、活用いたしましょう。林良廣地域奉仕・環境事業主任 (京都イブクラブ)

2011年2月第1例会のご案内

日時: 2011年2月18日(金) 午後7時~
場所: 西宮YMCA 保育園3Fホール
ドライバー: 清水彬久メン、宮地京子特別メネット

- 1. 開会点鐘 馬場会長
- 2. ワイズソング 一同
- 3. 聖句朗読
- 4. ゲスト紹介 馬場会長
- 5. 入会式 山口吉郎さん
万本敬一さん
- 6. 「西宮YMCA 現況報告」 山根 泉 館長
野村さん(サポートクラス)
- 7. 誕生日のお祝い
- 8. Y's ニュース・お知らせ 馬場会長
- 9. YMCA 報告 三島主事
- 10. 閉会点鐘 馬場会長

今月の聖句

『主は御名にふさわしく わたしを正しい道に導かれる。
死の陰の谷を行くときも わたしは災いを恐れない。
あなたがわたしと共に行ってください。』

詩編23編3~4節

清水彬久メン 選

1月 例会出席状況	在籍会員数	20名
第1例会(1.21土)	第2例会(1.8土)	
メ ン 18名	メ ン 14名	
メネット 1名	メネット 0名	
ゲストビジター 28名	ゲストビジター 0名	
合計 47名 make-up 2名	合計 14名	
出席率 100%		

ファンド・BFの累計	1月	累計
ニコニコ ファンド	6,310 p	27,602p
Brotherhood Fund	4,200 p	19,200p
使用済み切手	1,661 g	2,091g
(集積した2Kg余りを梱包し郵送済)		

Happy Birthday To You

お誕生日おめでとうございます

- 2/3 小野 勅統メン
- 2/21 山本 常雄メン
- 2/12 阪根 紀子メネット
- 2/25 長井多美子メネット

会長メッセージ

馬場 一郎 会長

12月、1月例会と有意義な交流を持つことができ、うれしく思っています。1月例会ではリーダーとの交流、親睦ができました。やはりYMCAの最も強いところは、若いリーダーが、子どもたちのために集まってくれている。たくさんのリーダーが、そして熱心なリーダーが、元気にYMCAの活動を支えてくれている、そういうところだと改めて思いました。

私自身はこの機会に西宮YMCA、西宮ワイズメンズクラブの歴史を振り返ることができ、学びの時となりました。川瀬メンの文章には、やはり味があります。そこに流れる熱いものがあります。例会でも触れましたが、1945年西宮YMCA・西宮ワイズメンズクラブの黎明期のところには、善積英一さんのことが書かれています。

「空襲で焼野原になった故郷西宮を眺め、内外ボロボロになった日本を憂い、この復興を托するは若者に限る。“将来の日本を救うには自分が育てられたYMCAを設立する以外に道はない”と戦火を免れた西宮北口近くの自宅を開放して友人、知人を集めて西宮YMCA設立の準備を始めた。」

一人の篤志家の強い意志が、今日の西宮YMCA・西宮ワイズメンズクラブのスタートとなったこと。そしてその意志に賛同し、協働する人達がいたこと。何よりその意志に人をひきつける魅力があったこと。さまざまなことを感じます。YMCA・ワイズメンの運動にはその“意志”が必要であるということも。

1月例会報告

ドライバー 長井 慎吾メン
浅野 純一メン

1月例会は西宮保育園の3階で定例の例会を行いました。今回は、ドライバーの長井メンの企画で念願の「大学生リーダー」との交流会を行いました。大学では期末のテストが近づいているなかですが23名の多くのリーダーが

参加してくれました。

交流会に先立って石井恭子さんの入会式を行いました。入会式は馬場貴英メン以来一年半ぶりのことで、大変うれしく思いました。馬場一郎会長より石井恭子さんの紹介がありましたが、YMCAでのリーダー活動に大変多く関わってこられたこと、さらにご自身の事業展開の合間を縫って、西宮の青年会議所を舞台に多くのボランティア活動を積み上げられてきた活動的な方との印象も持ちました。この西宮クラブの活性化に力を注いで頂きたいと感じましたが、同時に、私も石井さんに入会して良かったと思えるようなクラブに向けて努力しなければならないとも思いました。



石井恭子さんの入会式の様子

なお、入会式には西日本区の新山兼司EMC主任（京都トッブス）、齋藤勲EMC主査（神戸ポートクラブ）も出席して頂きお祝いの言葉を頂きました。そして、入会式の最後に、石井新メンより、とくに例会に参加した大学生リーダーにリーダーの先輩からのメッセージもありました。



プロジェクターを使ってのリーダーの野外活動説明

さて、大学生リーダーとワイズの交流会です。3部構成の第1部は、「お互いの活動をもっと知ろう」との趣旨で、最初に馬場会長が「ワイズメンズクラブ」の活動を紹介しました。次にリーダーから、就学前の子どもたち対象の「エルマー」、小学生対象の「ロビンフット」、「トムソーヤ」、「ピーターパン」の活動紹介がありました。小学生対象の3つの活動は地域で分けられているそうです。1ヶ月に1度の野外活動を中心としたプログラムをスライドを使って説明されました。

私もこのような名前は聞いていたのですが、その活動の一端を知ることができました。最後は長井メンから「西宮YMCAの歴史」が話されました。戦後のなにもないところからの出発に努力された先人の努力に改めて敬意を払う次第です。長井メンは、とくに善積英一さん、川瀬貴誉一さん、今井えん女史の三人の方の功績を話しましたが、私個人としては3年前に亡くなられた川瀬メンの晩年に親しくお話をできたことをうれしく感じました。



キャンプソングを歌い食前感謝する様子

第2部は、待ちに待った食事です。すでに午後8時30分になり、かなりお腹も空いていました。ワイズとリーダーと一緒にテーブルを囲んで、キャンプを思い起こしてキャンプソングを歌い、お祈りをして頂きました。ワイズとリーダーが世間話やそれぞれの活動での話で盛り上がりました。第3部は長井メンの指導でロープの結び方の練習です。時間が余りとれなかったのは残念ですが、私も自宅に持ち帰って結

んでみました。参考になりました。例会は長井メンにアイデアと多くの準備をして頂きました。大変有意義な例会であったと思います。

西日本区だより7

2011~12 交流事業主任 廣瀬 一雄メン

1月9日~10日、ホテルクライトン新大阪で開催の2010年度次期役員研修会に出席してきました。前日の8日に神戸YMCAで西日本区からも亀浦Yサ主任、新山EMC主任をゲストにお迎えしたワイワイフォーラムがあり、その日の午前には西宮クラブの役員会では出席の皆さんにお知らせさせていただきましたが、今回はそのご報告です。その際おられた皆さんには研修会のプログラム等をコピーでお配りしましたので、その盛りだくさんな内容を少しは御理解いただけただけです。

次期役員研修会は九つの部長と七つの事業主任を対象としています。来る3月に新大阪のチサンホテルでの次期会長・主査研修会にむけての準備もかねての学習会のようなものです。



次期役員研修会初日の18時に記念写真撮影

最近の当方の体力不足、学習不足の生活から、この研修はなかなかのボリュームで、研修二日目の10日の夜は自宅のベッドで、バタンキュー。

ところでひとつ、その盛りだくさんの講義のうち一つだけ紹介させてもらいましょう。

10日(月・祝)の午前9時から「役員の心得」の演題で元日本区理事の吉本貞一郎氏からお話しがありました。新婚間もないご多忙中の氏は前夜、夕食後のフレンドシップアワーにやっと典子夫人とチェックインの様様。

氏は話しの中心を、冊子「ワイズ読本」と「伝える力」から引用されていました。後者の「伝える力」はPHPビジネス新書で、あの、そうだったのか、の池上彰さんが著者。

端的に言うと、話す・書く・聞く、が伝える力となるということで、帰宅後さっそくブック1stで図書を購入した次第でした。

神戸YMCA創立125周年記念事業を成功させよう

125年を振り返って

(その7)

125周年記念事業実行委員長



長井 慎吾メン

125周年に際し活動の原点を振り返るため、

神戸YMCA125年の先達の偉業をレビューしています。

今回は神戸YMCAの戦後復興に多大な支援を寄せたワールドユースファンドについてです。戦後速やかに立ち上がった理事会では戦火で焼失した会館再建の計画を進めていました。建設場所や規模については神戸市の都市計画との調整など当時の理事達が大変苦労して進めたとあります。最終的に中山手に本館と体育館を有す中山手少年会館が総額約6千万円の巨費を投じて建設されます。この建設費用を含め、戦後の復興に大きな資金となったのは、アメリカやカナダの北米YMCAが第二次大戦後ただちに世界21カ国の戦災YMCAに対して行った「世界青年復興資金募金運動」(ワールドユースファンド)からの支援でした。特に日本に対して多額の援助が寄せられ、その総額は1952年までに約52万ドル(当時の邦貨で約1億8千

5百万円)にもなり、とりわけ神戸YMCAには多大の理解が寄せられたとあります。北米YMCA同盟総主事のバーネット博士によると、当資金は、北米全青年会関係者の兄弟愛の発露により、戦後情勢の変化に伴う非常な困難を克服しつつ会員中の中学生までが進んでこのために尽力し、心のこもった寄付の募集に努めるなど、又、全職員も他に先んじて俸給の一部を長期にわたって捧げたことと述べ、世界の青年会援助には誠に微々たる額であるが、これが諸青年会復興の呼び水として役割を果たせば幸せであるとの言葉をのこされました。

本城敬三は、「神戸YMCAが全世界の如何なる都市のYMCAよりも多額な割り当てを受けたのではないかと信じる時、世界の人々の神戸YMCAにこの精神ありと期待してのことと思ひ、改めて感激と共に、美しい会館にも増して、青少年の心の中にYMCAを打ち立てねばならぬことの責任をひしひしと感じる」と述べています。当時の米国市民のように、平和の実践者となり、常に「汝の敵を愛せよ」とのイエスキリストの精神を实践するものでありたいと思うのであります。

リーダー会だより

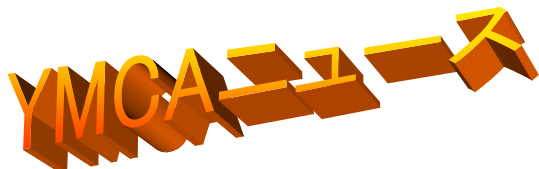
西宮・宝塚YMCAリーダー会 かわばた 川端 ゆりかさん

ワイズの皆様、こんにちは。いつもリーダー会を応援してくださり、ありがとうございます。ワイズ例会では、たくさんのリーダーが参加させていただき、ワイズの皆様とお話することができました。参加したリーダーはワイズの方々と楽しく時を過ごし、また貴重なお話を聞かせていただくことができ大変嬉しく思っています。

最近の活動としては、例会でおもちつきとカルタ大会をしました。自分達でおもちをつくのは大変そうでしたが、グループごとにトッピングも考えて、自分達で楽しくお餅づくりができました。自分で作ったおもちは、すご

くおいしかったようで、嬉しそうに食べていました。子供達が一人一枚カルタを作ったのオリジナルのカルタ大会はすごく盛り上がりました！また、六甲山に登山へも行きました。自然の中でめいっぱい遊ぶ子供達の姿はとても生き生きしていました。

そして、今春もスキーキャンプを予定しています。リーダー達は、楽しく充実したスキーキャンプにするためにミーティングやトレーニングを行い、準備を進めています。今年度もあと少しですが、リーダー一同懸命頑張りますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。



西宮YMCA 三島浩司メン

今年のお正月、皆様はどのように過ごされたのでしょうか。今年のお正月のニュースで、「おせち料理」の遅配が取り上げられていました。私が子どもの頃、母親は大掃除やおせち料理の準備をしたり、また、親戚が集まってのお餅つきをして鏡餅を作ったりと、お正月を迎えるための準備に追われていました。そして、お正月を迎えると、町内の家々の玄関には大小様々なしめ縄飾りや門松などが飾られ、獅子舞が回って来ていました。日本の伝統的なお正月が、まだ色濃く残っていたように思います。このような伝統行事の一つ一つには、神仏や家族、地域との繋がりを大切にしてきた人々の「心」が伝えられていたように思います。近年、少なくとも私の周りでは、このような「お正月」の風景はどんどん少なくなっているように思います。同時に、大切にされてきたはずの「心」までが希薄になってしまっているのではないのでしょうか。1月、保育園や学童保育、野外活動など様々な場面で、こま遊びやお手玉、お餅つきなどの伝統的な遊び、行事を体験しました。この遊びや行事を通して大切にされてきた「心」を伝える

ことをしっかりと意識して取り組んでいるかどうか、今一度検証する必要がある様に思います。

2011年、神戸YMCAは創立125周年を迎え、様々な記念行事を計画しています。この行事の一つ一つを通して、125年の歴史を積み重ねてこられた先人の方々が大切にされていた「心」を感じ、次の時代へと繋げていくことを大切に、記念すべき一年を過ごしていきたいと思いをします。

今後の予定

1) CPR(心肺蘇生法)・AED(自動体外式除細動器)講習会

西宮YMCAでは、2007年度よりAED(自動体外式除細動器)を設置していますが、地域の方々にも万一の時に有効に活用していただくために、使用方法等の講習会を行います。是非ご参加下さい。

日時: 2月18日(金)10:00~11:30

3月12日(土)10:00~11:30

場所: 西宮YMCA 3階C教室
西宮YMCA保育園

3階 ホール

参加費: 無料

持ち物: タオル、動きやすい服装

申込: 西宮YMCA保育園まで電話にてお申込ください。

西宮YMCA保育園だより

三島浩司メン(保育園園長)
(西宮YMCA保育園だより1月号より)

1月の主題: じっくりと

4月の入園、進級から早9ヶ月、1年間の4分の3が過ぎました。新しく入園した子ども達は、不安と緊張で泣いたり、体調を崩したり。また、進級した子ども達も新しいお友達や先生との出会いに不安や緊張を覚えていたのではないかと思います。けれども、遠足やプール遊

び、キャンプや運動会、クリスマスなど、ドキドキ、ワクワクする行事、そして毎日の生活を積み重ねてきた子ども達一人一人が、成長の糧として随分多くのものを吸収してきたのではないかと思います。先日、あるラジオ番組で「脳」の働きについて話されていました。「脳」は、起きている間の様々な活動を通して多くの情報を得、寝ている間にこれらの膨大な情報を整理しているそうです。ですから、睡眠時間を減らして受験勉強をすると、吸収する情報は増えるもののその情報の整理が十分に出来ないのです。余り望ましくないといったお話でした。4月から多くのものを吸収してきた保育園の子ども達にとって、1月からの3ヶ月は、これまで積み上げてきたお友達や先生達との関係や遊びの方法や楽しみ方など、じっくりと時間をかけて整理し、熟成させていくための時期になります。この大切な熟成の時期を子ども達が落ち着いてじっくりと過ごし、より大きな成長へと繋がることを願っています。

旧約聖書の冒頭、創世記には神様が天地を創造された様子が書かれています。神様の天地創造の御業の1日目、「光あれ。」と光と闇を分けられました。この光は「希望」、闇は「絶望」を表しています。深い絶望の中にある人々にこそ、神様は光「希望」を与えてくださいます。「心配しなくていいよ、いつも私が傍にいるよ。」というメッセージと共に。アフリカのサバンナでは、今にも降ってきそうなくらいの満点の星を見ることが出来るようですが、これは、地上に明かりがなく、深い暗闇に包まれているからです。闇、絶望が深ければ深いほど、光、希望がより明るく鮮明に見えてきます。私たち人間は、弱く、罪深く闇に包まれています。そのような私たちのために神様は天地創造の1日目に「光あれ。」とおっしゃってくださいました。神様の大きな愛のうちにいることを忘れず、また、この神様からの愛、希望の光が一人でも多くの人々のところに届くことを願いつつ、歩いていければと思います。

1月聖句：神は言われた「光あれ」
(創世記1章3節)

音を重ねる日々は心を重ねる日々に-46



楽団あぶあぶあ&ミュージカルチーム LOVE 代表ひがしの ようこさん
音を重ねる日々は心を重ねる日々
- 47 今月もお休み
濱 浩一メン

ワイズニュース 馬場 一郎 会長

- 2011年2月例会では、会長方針にも上げている「サポートクラスの支援を考える」ということも含め、西宮YMCA山根 泉館長に「西宮YMCAの現状」についてお話頂きます。
- クラブ会長・総主事懇談会
2011年2月28日(月)18:30より、神戸YMCAにて、次期会長と共に総主事との懇談会があります。
- ワイズメンズクラブ 国際大会第14回西日本区大会 1月例会で配布しました西日本区大会のご案内(欠席された方は、西宮YMCA3階ホール倉庫のそれぞれのトレーに入れてあります)をご覧くださいませようをお願いします。後日参加者の申し込みを取らせて頂きます。
- 2011年5月第1例会は、5月20日(金)に予定をされていましたが、5月21日(土)に変更します。また場所もヴォーリス六甲山荘です。詳細は後日、お知らせします。ご予約下さい。
- 故伊地知メンのお嬢様より、健様のご葬儀に際し、お世話になりましたということで、西宮ワイズメンズクラブにご寄附を頂戴しました。有意義に使わせていただきたいと思います。ありがとうございました。

125周年キックオフ、新春ワイワイフォーラム開催

水野雄二総主事

(神戸YMCA マンスリーレポート 105より)

去る1月8日(土)に125周年キックオフイベントとして「新春ワイワイフォーラム」が開催され、多くの参加者を得て、楽しく有意義な会となりました。これは昨年度からユース委員会が企画してくださり、125周年実行委員会と共に準備してくださったイベントで、そのために多くのユースボランティアが参加してくださいました。150名ほどの参加で、ワイズメンズクラブメンバー、ユースリーダー、3法人の教職員、一般会員の方々が集り、礼拝・グループセッション・YMCA及びワイズの各クラブ活動の紹介などがなされました。特にグループセッションでは柳谷利起さん(元職員・社会福祉法人、青年会監事)が自ら作成された「神戸YMCA125年の歴史すごろく」で遊びながら、歴史に触れる試みがなされて楽しみました。



125周年記念 polo-shirts への書込み発表会

このイベントを通して、若い力が十分に発揮されていることを感じましたし、これからも若い人たちが輝くYMCAでありたいと思います。ワイワイフォーラムの参加者の皆さん、準備された委員の皆さん、ありがとうございました。

三田YMCA開所式行なわれる

山本常雄メン

三田YMCAの開所式が去る1月29日に176号線沿いの新しい会館の隣の保育ネットワーク『ミルク』の園をお借りして、馬場一朗牧師(さんだワイズ)の司式の下、大勢のユース

リーダー・ワイズメンズ・YMCA職員立会して厳かに行なわれました。西宮クラブからは、浅野・岡田・濱崎・廣瀬・山本の各メンが参加し門出を祝いました。



馬場牧師による開所式礼拝

水野総主事の閉会ご挨拶



大勢のリーダーワイズもお祝いに駆けつけました

水の流れる事々にさる

(俳句) 山野 直行(小野勅紘)

・木枯しが こんこんと来て また帰へる

(安普請の神戸の社宅に住んでいた子供の頃、冬には雨戸の外で、寒風が吹き荒んで「ぴゅー、ぴゅー」という音で、中々寝付けなかった。そんな時、父が決まって「冬将軍がきたな」と呟いた。「冬将軍」って何だろう。誰なんだろう。一度見てみたい反面、怖い気持が半ば。2か月もすれば春一番が吹き梅の花が綻ぶのだが、それ迄は冬将軍が木枯らしと共にやってきて、また帰っていく暗い夜を過ごした遠い日々。)

ふみしたた

・安否問ふ 文認めて 三が日

(毎年年末になると私は年賀状に苦勞する。今年もとうとうプリンターが故障してインク漏れ。やっとプリント出来た時には年は明けていた。頂く方が出すより追い越してしまい失礼をした。頂いた年賀状を見ていると殆どが「お元気ですか?」「いかがお

過ぎですか?」「ご無沙汰しております」といった安否を問うものが多い。年賀状は安否確認の印のようなもので、年賀状が来る限り「元気にしている」証拠。インクまみれになっても、大変遅れて出せたのも「元気な」ことを伝えたい一心であったことを改めて噛み締めた年始であった。))

酔ひ醒めしまどろむほどの猫行火

(殆どの家庭は大しておおきな行事はなく、三が日は寝正月が多いらしい。私には全く経験がないが、孫たちが成人するまでは「お年玉」目当てに爺婆の実家に押しかけてきて、頂くものを頂くとさっと去っていきまさに現金なものらしい。起きては一杯やり、うつらうつら。すぐ夜になって、また一杯やってうつらうつら。猫行火(猫火鉢)という昔の暖房器は、股座に抱えていると、まことに便利なものだ。私はその昔、股引の裾を焦がしたことがあったが、昭和は遠くになりけり。)

(近2ヶ月の予定表)

小野メンカ作

＜今後の予定＞	
＜ドライバーの予定＞	
3 山口、清野	4 阪部、塚
5 小野、清水	6 香瀬、系場(一)
60周年記念誌編集作業 第2・4巻(18:00)	
84クラブ合同例会は未定	
2月(ドライバー:宮地、清水)	
日	曜
4	日
6	日
8	火
9	水
10	木
11	金
12	土
13	日
15	火
16	水
17	木
18	金
19	土
20	日
22	火
23	水
24	木
25	金
26	土
27	日
28	月
29	火
30	水
31	木
3月(ドライバー:阪部、香)	
日	曜
4	日
6	火
7	水
8	木
9	金
10	土
11	日
12	月
13	火
14	水
15	木
16	金
17	土
18	日
19	月
20	火
21	水
22	木
23	金
24	土
25	日
26	月
27	火
28	水
29	木
30	金
31	土

メーカー等にご活用下さい

新会員のプロフィール

石井恭子メンのプロフィール



- 1. 出身・・・西宮生まれ、西宮育ち

- 2. YMCA活動・・・1985年～1989年まで西宮YMCA野外活動のリーダー同時期、三宮ランチスキーリーダー、幼児サッカーのリーダーも担う。宝塚Y開設後、三田Y開設時もリーダー活動支援。
- 3. 職業・・・自営業(清涼飲料水の製造・販売)ミネラルウォーター・炭酸飲料を自社ブランドとして製造。
- 4. 地域活動・・・「社団法人 西宮青年会議所」(修練・奉仕・友情を信条とし、明るい豊かな社会の実現を目指している団体)で活発な活動を行い、現在は、青年会議所OBとしての活動。他に、西宮商工会議所青年部NPO法人 こども環境活動支援協会の理事
- 5. 趣味・・・旅行やイベントが好き。飲食も好きで、特にスイーツには目がないとのこと。

会費納入のお願い

クラブ会計 足立 康幸
岩田 健司
西宮クラブ本年度、下期会費納付時期となっております。まだ納付されていないメンバーは下記の口座へ振込下さい。宜しく願い致します。
記
振込先 三井住友銀行 夙川支店
普通預金口座番号 3230220
西宮ワイズメンクラブ 山口政紀

編集後記 プリテン委員長 山本 常雄

1月度も出席率100%達成、これで4回目です。今迄通算で1度しか経験したことがなかった100%を半期余りで4回とは、会員の方々の意識が高まった証しですね。会員数も久しぶりに22名と大台を復活できました。プログラムもユースリーダーとのコラボ=相互理解やYMCAローカルスタッフをお呼びしてのYMCA理解・支援模索と充実してきており、これからYMCAと地域に奉仕するワイズメンズクラブとしての本領を發揮すべき時が満ちてきつたように思えますね。馬場会長に”前に倣え!”